

謹啓、寒冷の候、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、このたびの地震災害に際しましては、心温まる義援金をお寄せいただき、福島県民を代表して心から御礼申し上げます。

お寄せいただいた義援金は、県内で被災された方々の一日も早い生活再建に役立てていただけるよう、公平にお届けいたします。

未曾有の大震災から2年10箇月が経過いたしました。

この間、国内外からお寄せいただいた多くの御支援に、福島県民は助けられ、励まされ、勇気をいただきました。

おかげさまで、企業の操業再開や観光施設の再オープン、被災者のふるさとへの帰還が一部で始まるなど、少しずつ成果が現れてきています。

復興への道のりは長くても、あきらめず、強い意志を持って、心をついにして前に進んでいく限り、必ずや復興を成し遂げることができるかと私は確信しています。

「ふくしまが歩んだ軌跡が、いつの日か、のちに続く世代の「道標（みちしるべ）」となるように、一步一步確実に、かつ速度を上げて、復興への道を進んでまいります。」

（平成25年3月11日

「3.11ふくしま復興の誓い2013」より）

今後とも当県の復旧・復興に御理解と御支援をお願いいたします。

このたびの温かい御厚情に対し、略儀ながら書中をもって御礼申し上げますとともに、皆様のますますの御発展をお祈り申し上げます。

敬 白

公益社団法人岐阜県診療放射線技師会
会長 安田 鋭介 様

平成26年1月

福島県知事 佐藤 雄平